

日向川水系・月光川水系 緊急治水対策プロジェクト

～あらゆる関係者と連携した地域復旧復興のための治水対策の推進～

○二級水系である日向川水系及び月光川水系では、令和6年7月25日からの大雨により甚大な被害を受けたことを踏まえ、激甚化・頻発化する災害に対して浸水被害の軽減を図るため次の対策を実施する。

➢山形県(河川)は、荒瀬川の河道掘削、施設復旧や土砂浚渫を集中的に実施するとともに、継続中の事業についても進度を加速化し浸水被害を軽減する。

➢山形県(砂防)は、土石流などが発生した溪流において、砂防堰堤等の施設を整備し、本川への土砂・流木の流出を軽減する。

- 事業期間 令和6年度～令和10年度
- 目標 令和6年7月と同規模の洪水に対して、越水・溢水による浸水被害を防止する。
なお、今後、激甚化・頻発化する災害に対しても氾濫による浸水被害を軽減する。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- 1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】
- 2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】
- 3 施設復旧【山形県・河川】
- 4 土砂浚渫【山形県・河川】
- 5 継続事業(築堤・河道掘削、貯砂ダム整備)の加速化【山形県・河川】

○集水域での対策

- 6 砂防堰堤の整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】
- 7 治山施設の整備【林野庁、山形県・森林】
- 8 雨水排水施設の整備【遊佐町】
- 9 田んぼダムの推進【酒田市】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

- 10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、酒田市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

- 11 水害リスク情報の充実と普及【山形県、酒田市、遊佐町】
- 12 早期復旧・復興のための拠点づくり【学・民】

■本プロジェクトと連携して進める事業

○地域の復旧復興のためのライフライン事業

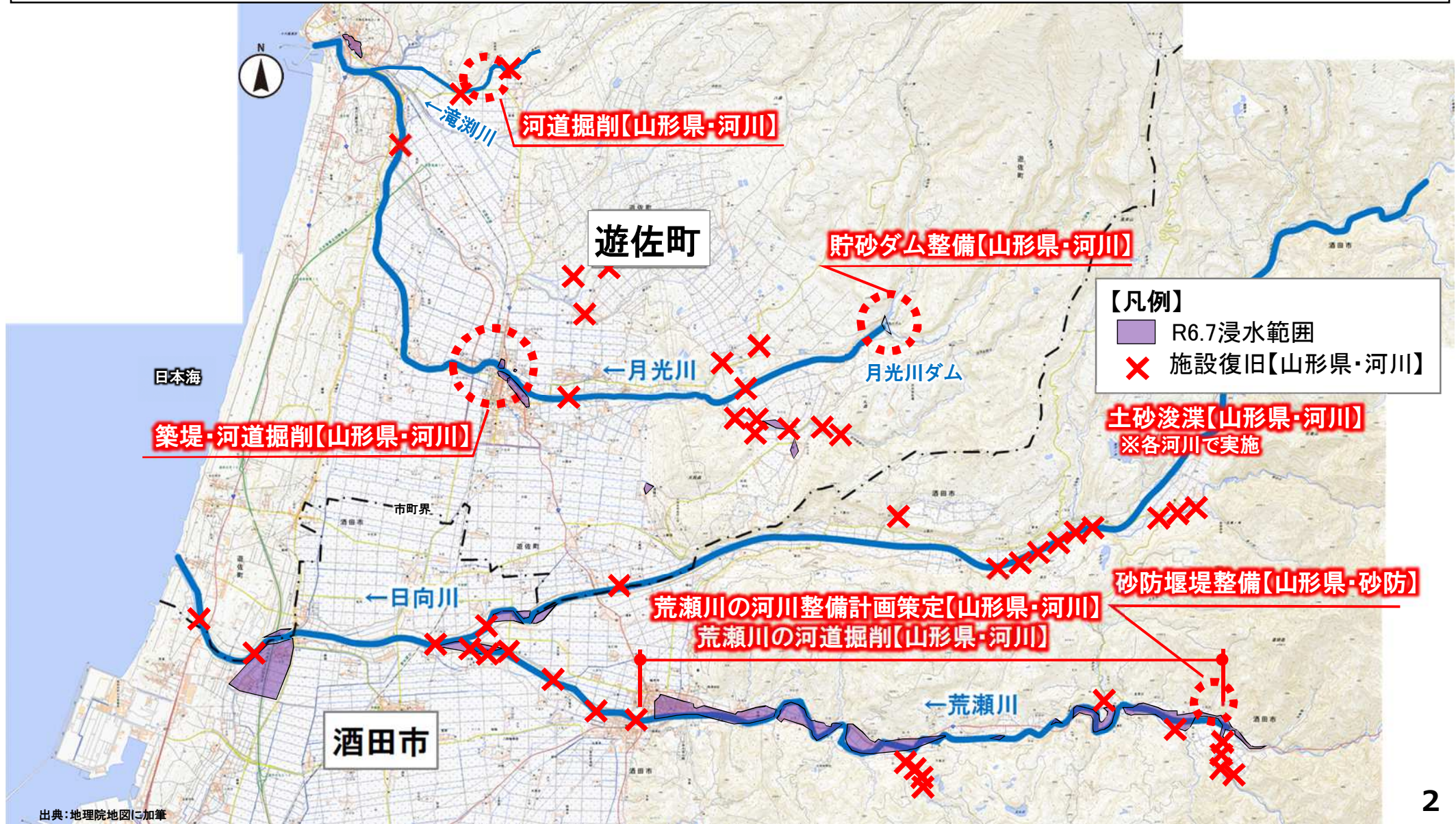
- ・道路施設の復旧【山形県、酒田市、遊佐町】
- ・農地、農業施設の復旧【酒田市、遊佐町】
- ・水道、下水道施設の復旧【酒田市】



	R6	R7	R8	R9	R10	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】	完了				
	2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】	進行中				
	3 施設復旧【山形県・河川】	進行中			完了	完了
	4 土砂浚渫【山形県・河川】	完了				
	5 築堤・河道掘削、貯砂ダム整備【山形県・河川】	進行中				
	6 砂防堰堤整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】	砂防堰堤完了				
被害対象を減少させるための対策	10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導等【山形県・酒田市】	進行中				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	11 水害リスク情報の充実と普及【山形県・酒田市・遊佐町】	進行中				
	12 早期復旧・復興のための拠点づくり【学・民】	完了				

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 令和6年7月25日からの大雨により甚大な被害を受けたことを踏まえて、激甚化・頻発化する災害に対する被害軽減のため、荒瀬川の河川整備計画策定及び河道掘削による流下能力向上対策への着手と継続箇所(築堤・河道掘削、貯砂ダム整備)の事業進度を加速化する。
- 被災した河川管理施設の復旧や堆積した土砂の浚渫を早期に実施する。
- 土石流が発生し家屋被害等が発生した溪流において再度災害防止のため緊急的に砂防堰堤を整備する。



1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】

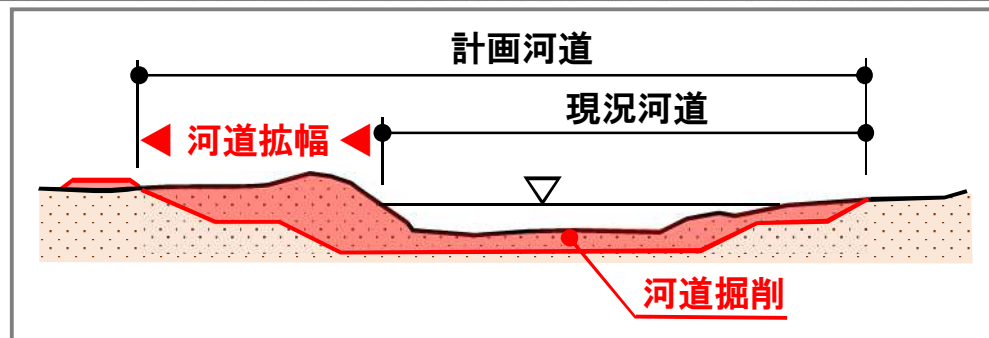
2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】

○特に被害が大きかった荒瀬川について、原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、河川整備計画を策定し河道掘削を行うことで流下能力の向上を図る。

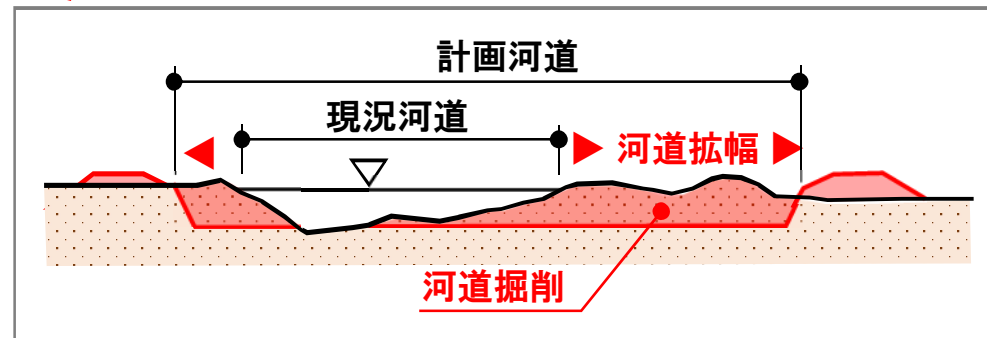
○事業期間 令和6年度～令和10年度

■ 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】

① 下流部整備イメージ



② 中・上流部整備イメージ



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

3 施設復旧【山形県・河川】

○被災した河川管理施設（護岸など）の早期復旧を図る。

4 土砂浚渫【山形県・河川】

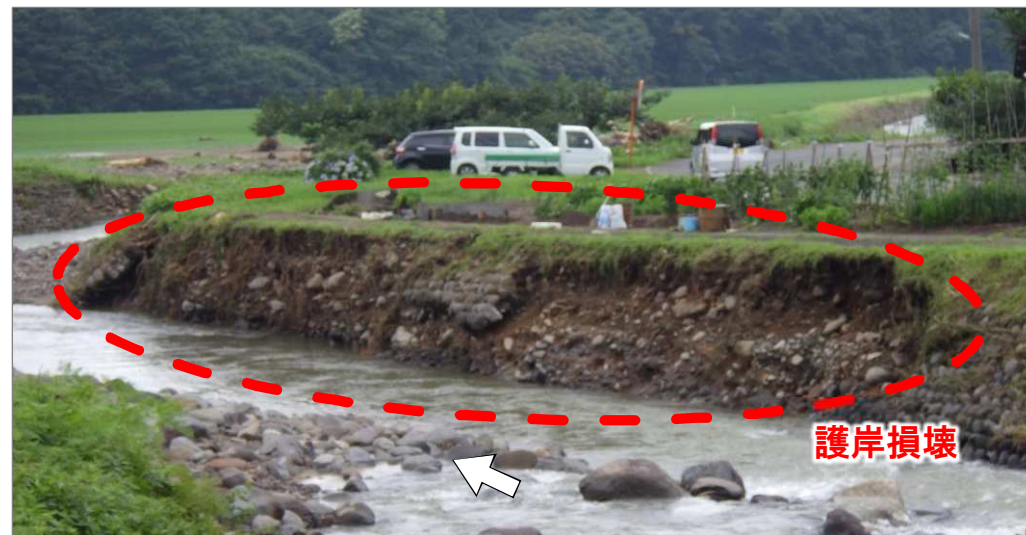
○河道の流下能力確保のため、土砂浚渫（堆積土砂撤去、支障木伐採）を実施する。

■ 施設復旧【山形県・河川】：各河川で実施

※掲載は実施箇所の例



日向川（酒田市穂積）



庄内熊野川（遊佐町杉沢）

■ 土砂浚渫【山形県・河川】：各河川で実施

※掲載は実施箇所の例



日向川（酒田市芹田）



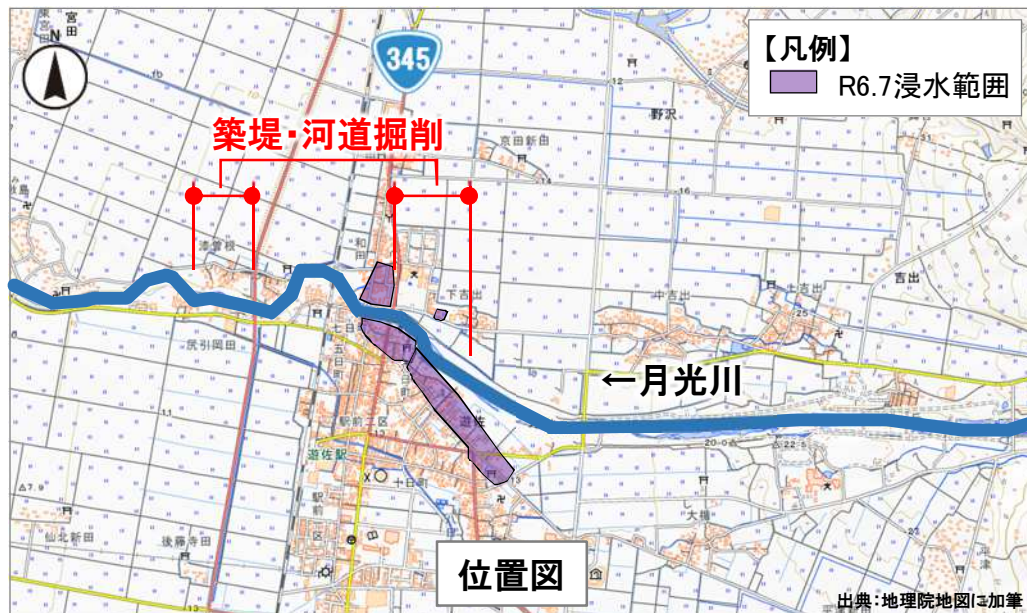
荒瀬川（酒田市大豊田）

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

5 継続事業（築堤・河道掘削、貯砂ダム整備）の加速化【山形県・河川】

○築堤・河道掘削による河川整備や治水ダムの貯砂ダム整備の継続箇所については、浸水被害の軽減の事業効果が早期発現できるよう事業進度を加速化する。

■ 築堤・河道掘削【山形県・河川】：月光川 ※掲載は代表箇所



■ 貯砂ダム整備【山形県・河川】：月光川ダム



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

6 砂防堰堤の整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】

- 小屋瀧川から土石流が発生し、小屋瀧地区の住家が土砂に埋まる被害が発生したことから、新たに砂防堰堤を整備し、再度災害を防止する。
- 荒瀬川流域において土砂・洪水氾濫発生のおそれがある地域の調査を行い、対策を検討する。

■ 砂防堰堤の整備【山形県・砂防】:小屋瀧川

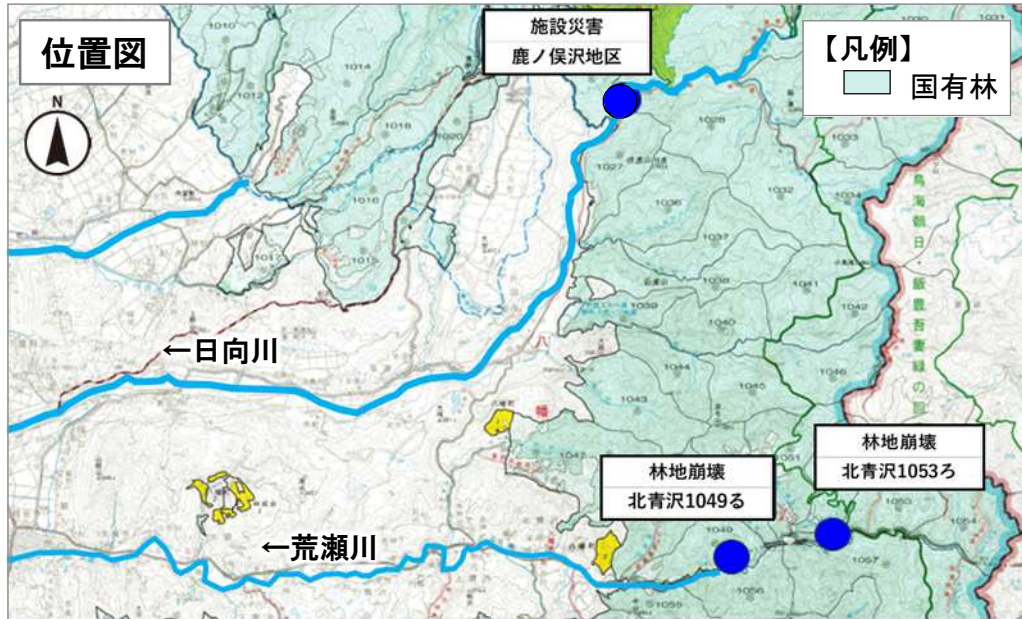


※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

7 治山施設の整備【林野庁、山形県・森林】

○大雨により発生した山地崩壊箇所等について、治山施設を整備することにより森林が有する水源かん養や土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害や土砂災害の軽減を図る。

■ 治山施設の整備【林野庁】：鹿ノ又沢地区ほか



■ 治山施設の整備【山形県・森林】：石田地区



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

8 雨水排水施設の整備【遊佐町】

○内水浸水が発生した遊佐町吹浦地区において、浸水被害を防止するため排水施設を整備する。

■ 雨水排水施設の整備【遊佐町】:遊佐町吹浦地区



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

被害対象を減少させるための対策

10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、酒田市】

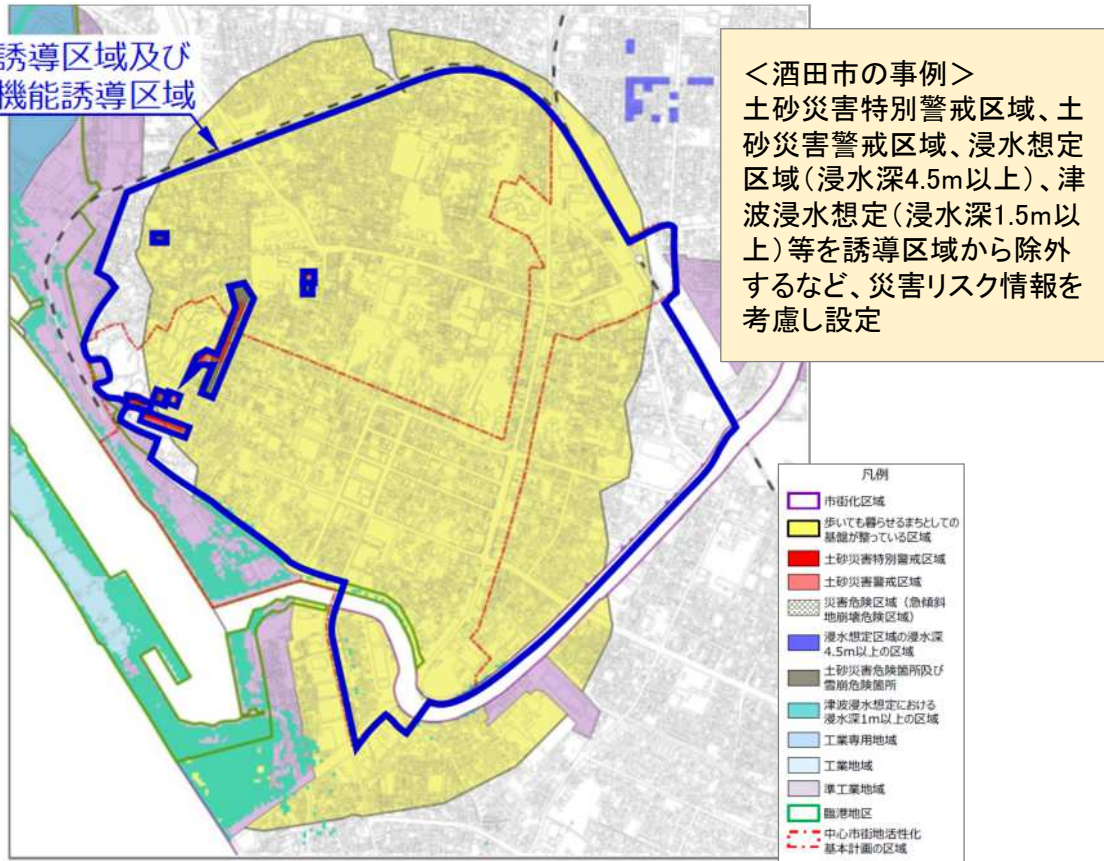
○土砂災害特別警戒区域や浸水想定区域といった各種災害危険区域を防災指針として設定し、立地適正化計画を作成の上、災害が想定される地域では、中長期的なハード対策や安全な居住誘導区域への移住促進誘導、短期的には避難行動に関するソフト対策の充実を図る。

■災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、酒田市】

<防災指針を踏まえた避難行動計画の設定>

- ・浸水範囲、浸水深、浸水到達時間等により検討
- ・避難所までの距離から避難時間を想定し、避難可能であるか等についても検討
- ・必要に応じて垂直避難施設や浸水しない避難経路等の整備を検討

居住誘導区域及び
都市機能誘導区域



酒田市立地適正化計画（H31.3）

<避難指示にあたってのソフト対策>

- ・豪雨等による浸水等のおそれがある場合は、防災ラジオやエリアメール、広報車などによる避難指示を行う。



防災ラジオ



エリアメール

<居住誘導区域外の区域での対応>

- ・居住誘導区域外の区域では、特定開発行為の届出にあわせてリスク情報を再周知、必要なアドバイスを検討
- ・安全な居住誘導区域内への緩やかな居住誘導促進

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

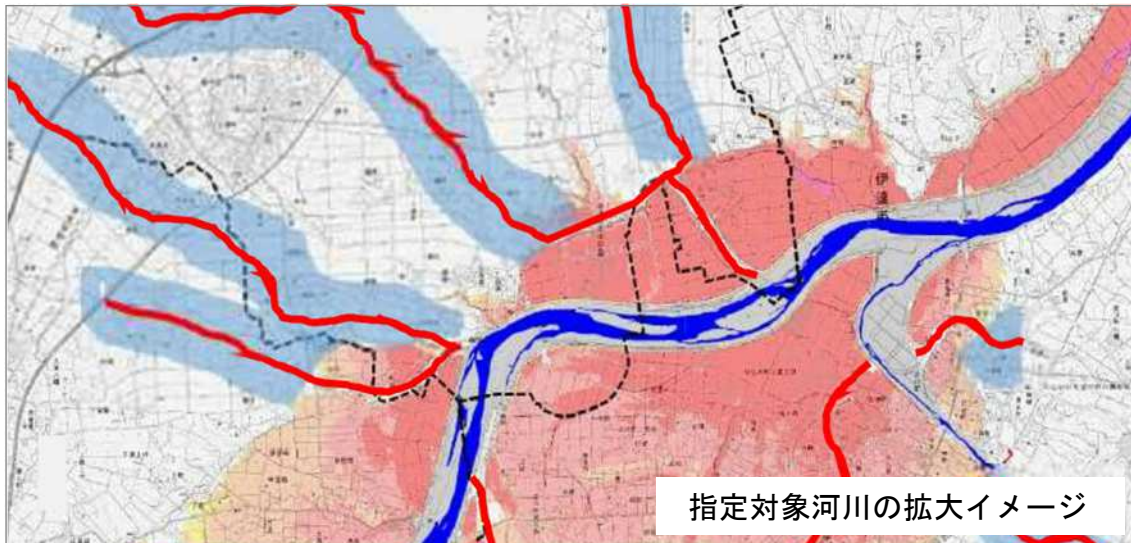
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

11 水害リスク情報の充実と普及【山形県、酒田市、遊佐町】

- 近年、中小河川等の水害リスク情報の提供を行っていない水害リスク情報の空白域で多くの浸水被害が発生している。水害リスク情報の空白域を解消するため、令和3年の水防法改正に基づき、洪水浸水想定区域を全ての一級及び二級河川で指定し、併せてハザードマップの更新・公表を進める。
- 被害発生した箇所などに新たに危機管理型水位計を設置し、避難行動に資する情報として出水時における河川水位を提供する。

■ 水防法改正による指定対象の拡大

山形県 洪水浸水想定区域の指定 70河川（R5年度末）⇒554河川
(注)上記河川数は一級及び二級河川の合計数



【凡例】

- : 新たに指定対象となる河川及びその洪水浸水想定区域（イメージ）
- : 公表されている洪水浸水想定区域

酒田市・遊佐町 洪水ハザードマップへの反映

洪水浸水想定区域

避難場所・避難経路

水位観測所

要配慮者利用施設

アンダーパス

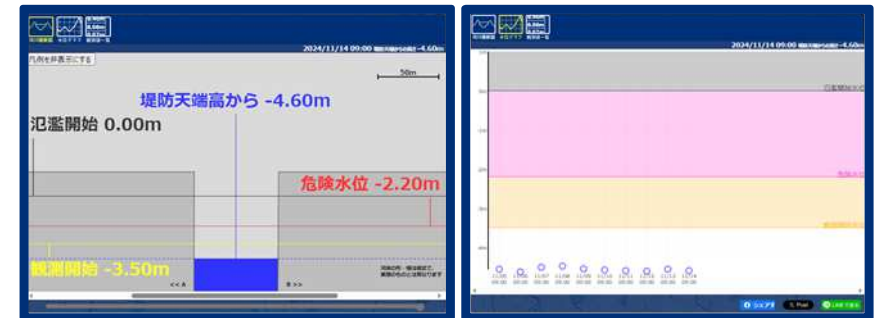
過去の浸水箇所

■ 危機管理型水位計による情報提供

洪水時の水位観測に特化した低コスト型の水位計で観測データはインターネットで提供



設置イメージ



インターネット公開イメージ

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

12 早期復旧・復興のための拠点づくり【宮城大学・民間】

被災者の孤独や被害の風化を防ぎ豪雨災害からのよりよい復興の実現のため、庄内地方における復興の拠点となることを目指し、被災者、支援者、専門家、観光客に対する情報発信、被災者向けの居場所づくり、支援者向けの研修を行う「しょうない復興ステーション」を酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」内に開設

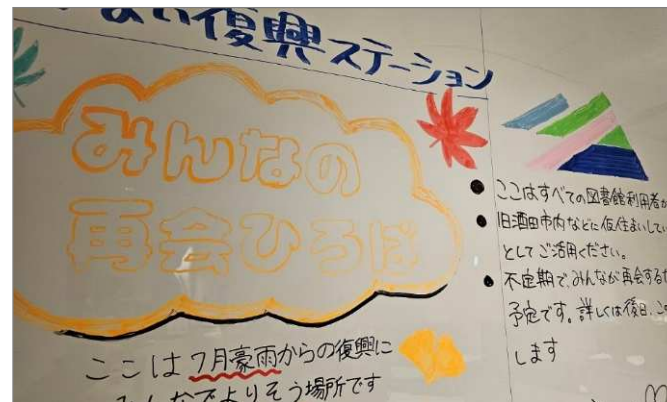
■ 早期復旧・復興のための拠点づくり（しょうない復興ステーション）【宮城大学・民間】



▲ 酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」



▲ 情報発信_復興情報ひろば



▲ 被災者居場所づくり_みんなの再会ひろば



▲ 支援者向け研修_よりよい復興のひろば

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。